

# 平成19年度全国学力・学習状況調査についてのお知らせ

1. 実施日時 平成19年4月24日（火）

2. 実施教科 国語科・算数科

3. 実施学年 第6学年

## 4. 実施結果

### ①教科学習状況調査結果

<国語・算数結果> 共通の傾向

A問題 「知識」に関する内容は概ね理解されています

B問題 「知識・技能」を活用する力に若干課題が見受けられます。

◇よい状況と考えられる内容

◆指導・改善が必要と考えられる内容

#### <国語>

- 書くこと ◇文章の中から必要な言葉を選んで内容を理解すること  
◆説明文で述べられている事柄の理由を要約すること、条件に即して書き換えること
- 読むこと ◇二つの文章の共通点を評価し、自分の考えをまとめること  
◆文章の内容と資料の情報との関連づけを正しく読み取ること
- 言語事項 ◇5学年までの漢字に関して、正しく読み、書くこと  
◇接続語の使い方、指示語が示す内容を理解すること
- 話すこと ◆聞き手にとってわかりやすいスピーチにするために大切なこと

#### <算数>

- 数と計算 ◇整数、小数、分数の四則計算をすること
- 量と測定 ◇基本的な平面図やL字型の図形の面積を求めること  
◆地図から複数の図形を見だし、必要な情報を取り出して面積を比較し説明すること
- 数量関係 ◇伴って変わる2つの数量について、関係を表にまとめ変化の規則性を読み取ること  
◆式の形に着目して計算結果の大小を判断し、根拠を明確にして説明すること

## ②質問紙調査結果

- ・朝食の摂取率が高い。
- ・就寝時刻が遅く、起床時間も遅い傾向がある。
- ・学校で好きな授業や楽しみにしている活動があると回答した割合が高い。
- ・普段の学習時間が長いと回答した割合が高い。
- ・地域行事に参加している割合が低い。
- ・規範意識がやや低い。

## ③質問紙調査クロス集計結果（質問紙調査の結果と教科学習状況の正答率との関わり）

- ・「授業の内容がわかる」と肯定的な回答をした児童の正答率が高い。
- ・「朝食摂取」「適度な睡眠」など、生活のリズムができている児童の正答率が高い。
- ・家で学校の宿題をしていると回答した児童生徒の正答率が高い。
- ・特に知識・技能を活用する問題に関して、新聞やテレビのニュースなどに関心があると回答した児童の正答率が高い。
- ・人の気持ちがわかる人間になりたいと回答した児童の正答率が高い。また、知識・技能を活用する問題の正答者の中で、その傾向がより顕著に見られた。

## 5. 今後の取り組み

- ・児童すべてが理解できるように、現在算数で取り組んでいる2名の教員が役割を分担して指導するのチームティーチング指導やクラス内の少人数、学年内での習熟度別の学習指導をより推進し、個に応じた支援を充実していきます。
- ・自分の考えを表現する場を様々な学習の中に取り入れ、自己表現力を育てます。
- ・実際の生活に即した学習場面をより多くし、学習したことを活用する力を育てます。
- ・健康教育や食育教育を推進し、睡眠や食生活の大切さについて指導するとともに、保護者・家庭と協力・協働してよりよい生活習慣が身に付くようにしていきます。
- ・季節ごとの地域行事やPTA行事などに進んで参加する姿勢を促し、自分の郷土を愛し、積極的に地域に関わり貢献しようとする態度を育てていきます。